

140年 の 歴史

西松のあゆみ

1874年の創業以来、安全・安心の国土を築くため、また国内外の地域の発展のために、先人達は叡智を結集し、最大限の力を発揮して多くの苦難を乗り越えてきました。いついかなる時でも、工期内に完成し引き渡すという約束を必ず守るという精神のもと、多くの皆様からこれらの精神は今日の西松建設の社員一人ひとりに脈々と受け継がれています。



1943年(昭和18年)
当時東洋一と言われた
鴨緑江水豊ダム完成。



1930年(昭和5年)
延岡工場新築工事。



1919年(大正8年)
九州肥薩線で複数工区を受注。経営基盤を形作る礎となりました。

1914年(大正3年)
九州宮崎線第12工区
新線工事を単独名義で受注。



創業者 西松 桂輔

1850年(嘉永3年)
美濃国安八郡に生まれ、
1874年(明治7年)
土木事業をはじめ。

創業



1962年(昭和37年)
虎の門本社ビル完成。

1962年(昭和37年)
香港ロアシンマンダム工事施工。
戦後における海外進出の原点。



1960年(昭和35年)
大手町合同庁舎
建築工事の施工。

1958年(昭和33年)
日比谷地下駐車場の施工。



1953年(昭和28年)
熊本県荒瀬ダム、
当社の機械化元年の
到来とも言える機械化施工の
モデル現場。

1946年(昭和21年)
岩手県北上川水系、石淵ダム、
日本初のロックフィルダムの
施工。



1874 ▶▶▶

1874年土木事業の開始 1926年海外事業の開始
1930年建築事業の開始

1945 ▶▶▶

1962年香港進出

信頼を得てきました。



1984年(昭和59年)
 シンガポール地下鉄工事、
 101工区ピシヤン操車場



1979年(昭和54年)
 東京ユニオンチャーチ
 新築工事着工。
 1982年
 「甦る郷土のコンペ」にて
 銅賞を受賞。



1973年(昭和48年)
 鍋立山トンネルの施工。
 掘っても、掘っても押し出してくる
 膨張性地山に対してあらゆる
 土木技術が投入された
 土木建設史上に刻まれる
 難工事でした。



1972年(昭和47年)
 迎賓館和風別館施工。
 伝統技術と
 現代技術の粋が
 結集された工事。



1969年(昭和44年)
 京葉線羽田沖トンネルで
 世界初の大断面泥水
 シールド工法で施工。

1963年(昭和38年)
 日本の建設会社として
 初めてタイで現地法人
 日泰建設を設立。
 現在の泰国西松建設。



2015年(平成27年)
 北品川五丁目第1地区第一種市街地
 再開発事業住宅棟(D棟) 施設建築物新築工事



2012年(平成24年)
 当社のビジネスノウハウと玉川大学の研究・開発の成果を用いて
 産学連携によるLEDのみを主光源として野菜生産をする事業を開始し、
 (株)サイテックファームを設立。



2003年(平成15年)
 神保町一丁目南部地区市街地再開発事業完成



1998年(平成10年)
 阪神淡路大震災に見られたような
 強大な衝撃と振動から生じた
 構造物の破壊メカニズム解明のために
 阪神淡路大震災を再現できる
 装置を有する衝撃振動研究所を設立。



1992年(平成4年)
 香港新空港用造成工事受注。
 造成工事は当社をJVリーダーとして、コスティン(英国)、
 モリソン・クヌードセン(米国)、パラスト・ニーダム(オランダ)、
 ヤン・ド・ヌール(ベルギー)、中国港湾(中国)の国際的JVで施工。

1960 ▶▶▶

1963年タイ国進出
 1980年シンガポール国進出

1990 ▶▶▶

2003年開発・不動産事業への取組み
 2012年新規事業への取組み